

議 会 運 営 委 員 会

日 時 令和5年6月30日（金）10：00～ 9：58～11：04

場 所 筑紫野市議会 第1委員会室

出席者 委 員 会 原口委員長・白石副委員長・横尾委員・上村委員
高原委員・西村委員・宮崎委員・城委員

正 副 議 長 赤司議長・辻本副議長

事 務 局 荒金局長・大久保課長・栗原係長

冒頭 市長あいさつ

《議 題》

1 議案の追加提案について 了

【資料1】

議案上程日：7月3日（月）本会議4日目

本会議の流れ：開会 ⇒ 表彰伝達 ⇒ 提案理由説明 ⇒ 質疑 ⇒ 委員会付託
⇒ 休憩 ⇒ （再開）一般質問 ⇒ 散会

※休憩中、予算審査委員会開催

2 議員派遣の議決について 了

6月定例会最終日に次の件について議員派遣の議決を行います。

福岡県市議会議長会議員研修会

日 時：令和5年7月31日（月）13：00～（受付12：00～）

場 所：久留米シティプラザ ザ・グランドホール

久留米市六ツ門町8-1

対象者：議員全員

議長は次の公務の関係で直接現地に向かう

3 令和5年第5回筑紫野市議会定例会（9月）会期日程（案）について

【資料2】

上村議員：補正予算が出てくることは考えられないのか。

事務局：可能性としてはある。

上村議員：それならば予算審査常任委員会を予定していないとまずいのではないか。

事務局：補正予算が出た場合常任委員会日程の中で調整する。

高原議員：常任委員会だから常開催しないといけないのではないか。調整ではない。
常に初日に予算審査委員会が入らないといけないのではないか。

事務局：初日に議運委員長と常任委員長で協議して常任委員会の日程を決めているので、調整という言葉を使用した。

上村議員：そういうならば常任委員会の日程を決める必要はないのではないか。その時に集まって決めてくださいというだけ。補正予算は出るかどうかかわからないので出た場合の日程は決めておくべき。

事務局：予算審査運営要領の中に補正予算に係る常任委員会は初日に行うとしていた。

委員長：予算審査常任委員会は初日に行くことでよい。

事務局：補正予算が出ない場合は常任委員会が開かれないので予め日程に入れておくことはできないのではないかとされる。

高原議員：議案がない3常任委員会が開催しないかと言ったらそうではない。初めての予算審査常任委員会だからいろいろな研究・協議事項がある。そのため初日に開催することを運営要領とお守りすべきと考える。

横尾議員：気になるのは今回のように追加提案が遅い時期に生じた場合の対応。その都度臨機応変に対応していくことになるだろうが。

上村議員：なぜこの時期に補正予算をあげるのかと言った説明をきちんとしてもらう必要がある。

委員長：今後は初日に予算審査常任委員会を設定して、補正予算がなければ他の協議をするでもいいし、なしにするということでもいい。

横尾議員：今回の追加提案について、本予算が可決する前に補正予算が上程された理由を明確にするべきではないか。

高原議員：今議会中だから緊急として補正予算をあげるのではないか。議会閉会後なら臨時議会にするか専決にするかということとなるのではないか。

事務局：9月7日に予算審査常任委員会と明記するという事でよろしいか。

上村議員：日程は設定し、開催して協議するのを前提にしておく必要がある。予算審査常任委員会として役割を果たせるにはどうしたらいいかということなどを議論して、1年間やってみてルールを作り上げる必要がある。

4 陳情・要望等第5、6号の取り扱いについて

【資料3】【資料4】

横尾議員：インターネット中継を実施するならすぐに協議ができるように予算を準備する必要がある。以前から委員会のインターネット中継をしようかという話になっていたが、止まっていた。

高原議員：新庁舎になって空配管だけはしていたはず。

委員長：短時間で解決できる問題ではないと思う。前向きに考えていく必要がある。過去からの課題でもあるので、議運の中で他の委員会の意見を聞きながら検討していきたい。

高原議員：議会改革推進会議のプロジェクトチームで検討していたのではないか。

(休憩)

議長：陳情者と直接話をするつもり。陳情として議会で対応する。

高原議員：議長としてではなく、議会の取組の検討しているICTプロジェクトチームリーダーとして話をしたほうがいいのではないか。

議長：ICTPTで機運が高まれば今後協議していけばいいと思う。ただ陳情者にこれまでの状況を説明したほうが誠実だろうと考えている。

上村議員：議運で話すときは決定する時。その前に検討が必要であり、それは推進会議ですべきと考える。

議長：今回の件に関しては、陳情として受け止めて、今まで何もしてないわけではないということを直接話したいと考えている。

横尾議員：今回改選があったが、推進会議として今後どうしていくのか。

高原議員：推進会議のメンバーは幹事会も含めて決まっている。

議長：部門的なメンバーについては今後の会議で決めていってもらふこととなる。

辻本議員：詳細は今打合せ中なので決まってない。

(再開)

委員長：インターネット中継に関する陳情については議運で前向きに取り扱うことでいいか。

全議員：了解。

5 議員全員協議会について 了

【資料5】

6 その他

上村議員：予算審査常任委員会について協議したい。予算を3常任委員会に分割して審査することも以前議論したことがある。これらのことも議論する必要がある。ルールを決めておく必要がある。

高原議員：予算については推進会議ではなく、横尾議長か赤司議長の期に議運で審議していくと取り決めをしていたと理解している。

議長：予算や常任委員会は議会基本条例に則った議会改革となるので、議運で審議するべきと考える。

辻本議員：今期も行われると思うが、前期から定例会終了後に反省会が行われてきた。今回予算審査と他の3常任委員会で資料の出し方で整理したほうがいいと思った。上村委員長が言われたように、資料請求を予算で出されていたら、3常任委員会の所管事務調査は落とすべきではないか。二重になっている。両委員会の所属している委員にとって非常に発言しにくい。今度議長主催の反省会で整理をしたほうがいい。

委員長：これまで議長主催で議運、3常任委員長で行っていたが、今回から予算審査委員長も含めてしっかりやっていく必要がある。

辻本委員長：議員全員協議会後の産廃議連で通常会費、環境調査日程等の話を行うが、今回新しい議員を迎えたこともあり、筑紫野市における産廃問題特に山神ダム上流の産廃問題の経緯等について説明する時間をもらいたい。20分ほどの説明。

委員長：議長判断であり、議長から了解をもらっている。

高原議員：事務局からタブレットを持参するように連絡があったが何のために持ってきたのか。

委員長：次回から議会運営委員会はタブレットを使用していこうと考えている。ドライブに本日の資料も掲載していて、ペーパーレスを推進していくために、今回の会議についてもタブレットを使用してもらうために事務局からラインを

送ってもらった。

高原議員：事務局もタブレットを購入しているので、事務局もタブレットを用いて会議に参加するべきではないか。

委員長：次回からはタブレットを用いて議会運営委員会を行うことでご協力をお願いする。

議長：地域公共交通について提案がある。地域公共交通については議員それぞれに思いがあり、関心が高い。先日も横尾議員から提案があったように協議体が必要ではないかと考えている。これから計画の策定事業が始まるので、それに合わせて議会の中で専門的に議論できるようなものが必要ではないかと思い、皆さんの意見を聞きたい。

委員長：全員が参加するものなのか。

議長：それも含めて協議したい。まずは立ち上げることについての意見を聞きたい。

上村議員：これから作成する計画においても、本格的なまちづくりにおいて地域公共交通がどのような位置づけになるかを議論する必要がある。まちづくりと関連しながら考えないと10年先が変わっていることも考えられる。今後大きく変わっていくのでそれを見越して考える必要がある。長期的な視点で検討する必要がある。

横尾議員：1年間で決めるような地域公共交通は先が分からない。

西村議員：総務市民委員会で検討するとなっているが、福祉にも関係しているので、少し広げて検討できるようにしてほしい。

宮崎議員：地域差が非常に大きいので、利用者の声を聞くことが大事だと思う。地区懇談会を行うと言っているがそれがどこまで届くかが疑問なので、議会でしっかり議論をするべき。

城議員：八尋総務市民委員長は非常に強い思いを持っているので、そことの兼ね合いを考えていくべきと考える。

辻本議員：全員参加型の場があればいい。執行部が計画を策定してもその後コース、時間の見直しが常に必要となるので、2年間くらいかけて進行管理を行う必要があると考える。

高原議員：賛成。執行部が1年位で考えても具体的なものでこない。議会としては長期的な視点で考えるべき。議会として取り組むと決まったなら、総務市民委員会の年間テーマは変えるべきと考える。

横尾議員：8名くらいの特別委員会を設置して、予算をきちんとつけるべきと考える。視察等を行ってきちんと検討できる特別委員会を設置するべき。委員はドント式で決定してはどうか。

白石議員：基本的に賛成。ボリュームダウンして終了するのはダメと思うので、目標地点もしくは時間を設定して着地点を明確にしておくべきと考える。

委員長：ほとんどの委員が前向きな意見だったと考える。議運としてもバックアップして、まずは協議会を立ち上げ、メンバーについて今後協議していくということでもいいか。

議長：貴重なご意見を聞けた。まずは何を議論して着地点をどこに置くかが非常に大事だと思う。時間はかかってもいいので、一度協議会を立ち上げて、どういう進め方をするのかなどを先に議論していただくということでどうか。

横尾議員：会派で持ち帰ってもらって検討してもらってはどうか。

委員長：会派で持ち帰ってもらって検討していただくということでお願いします。

議長：早く立ち上げを行いたいので、お願いします。